

**「将来は大学日本一、
そして世界トップをめざす」**

清風中学校・高校ヨット部

ヨット部は、2017年インターハイFJ級団体で準優勝、昨年は420級団体優勝と日本のトップクラスの実力がある。個人でも昨年の全日本420級選手権大会で優勝（西村宗至朗・蔵田翔也組）。年末、オーストラリアで開かれる420級世界選手権大会には3年連続日本代表として2チームが出場する。

ヨット競技。部員は中学が約20人、高校が約10人。休日を中心に芦屋マリンセンターでFJ級や420級のヨットで練習している。部員のほとんどが中学、高校から始めている。

中学の部員は、体力づくりが中だ。放課後、トレーニングやミーティングをし、3年の夏から海に出る。指導している顧問の狩谷一博先生（44）はヨット歴約25年。「生徒たちは、海に行くだけで喜んでいます。ヨットの面白さを味わい、どんどんと人間的な成長を果たしていく姿を見るのが楽しみです」主将の高校3年、西村さんは「父がウインド・サーフィンをやっていたので、小学1年からヨットを楽しんでいた。だから進学にあたって迷わずヨット部のある清風を選びました。将来は大学日本一、そして世界トップをめざします」と意欲満々。世界選手権に出場する高校3年、藤原達人さんも「メダルを獲得します」と自信たっぷりだ。

オリンピックや世界選手権の日本代表になつた先輩たちの活躍を見ながら、中学部員たちも体を鍛えている。



清風中学校・高校

テイリングをし、3年の夏から海に出る。指導している顧問の狩谷一

博先生（44）はヨット歴約25年。「生徒たちは、海に行くだけで喜んで

います。ヨットの面白さを味わい、どんどんと人間的な成長を果たしていいく姿を見るのが楽しみです」

主将の高校3年、西村さんは「父がウインド・サーフィンをやっていたので、小学1年からヨット

を楽しんでいた。だから進学にあたって迷わずヨット部のある清風

を選びました。将来は大学日本一、そして世界トップをめざします」と意欲満々。世界選手権に出場する高校3年、藤原達人さんも「メダルを獲得します」と自信たっぷりだ。